

# 立命館経済學

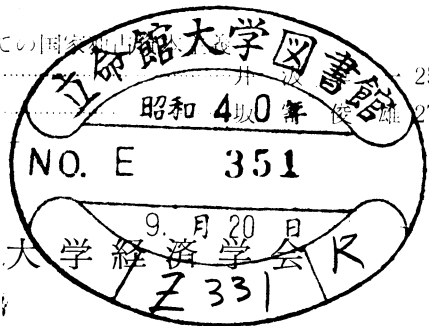
第十一卷 第一・二号

昭和三十七年六月

故白杉庄一郎教授追悼論文集

## 内 容

(遺稿) 差額地代=不当価値説……………	白杉庄一郎	1
—— 山田誠批判 ——		
経済学研究の出発点にある哲学的課題……………	樋 明 秀	58
—— 四四年(手稿)におけるマルクス自身の 思弁哲学についての分析的吟味として		
いわゆる使用価値の捨象にかんする一考察……………	岡 崎 栄 松	97
—— 故白杉教授[価値の理論]によつて		
白杉独占理論の構造……………	平 瀬 巳 之 吉	133
—— 特別剰余価値は独占利潤の源泉でありうるか 「その意欲だにあらばオーストリアは万国を凌がん」		
—— ヘルニク研究序説……………	出 口 勇 藏	157
ヘーゲル市民社会論とマルクス……………	細 見 英	186
アイルランド羊毛工業の抑圧……………	角 山 栄	215
—— イギリス重商主義論		
生産関係の国家的形態としての国家……………		255
について……………		
人口と就業状況……………		279
—— 国勢調査結果による		



立命館大学経済学会

立命館経済学

第十卷・第四号

論説

銀行資本の本質とその現象

小牧 聖徳

アメリカ独占体の財務構造

中村 萬次

広い意味での経済学について

木原 正雄

——社会主義経済学の生成と発展——

資料

J・ミル『政治経済学綱要』への批判的評注

——マルクスの最初の経済学研究より——

細見 英

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学

第十卷・第五・六号

論説

マルクス主義経済哲学の成立の必然性

梯 明秀

現代企業の構造と経営者の活動

植村 省三

——経営職能論序説——

研究

近世丹後縮緬機業に於ける飛脚制度について

足立 政男

わが国における割賦販売会計の理論

桑原 幹夫

発行所 立命館大学人文科学研究所